

やまさき

地域の力で ひとり暮らしのつどい開催



7月13日（日）、今年山崎のトップを切って、蕨沢地区でひとり暮らし高齢者のつどい。若葉の会“が学遊館のアイビードームでおこなわれました。山崎支部の、「つどい」は福祉委員を中心に、地区単位で企画・運営されています。例年中心になって企画されている地区代表福祉委員の神名寿昭さんは、「以前は、防災センターでやっていたが、3年前からアウトドアでやっている。今年も多くの人がきてくれてよかった。」と企画の成功を喜んでおられました。



野外ステージでのフラダンス。このほか銭太鼓、日本舞踊、ビンゴゲーム。総勢70名を超える夏らしいつどいとなりました

今回参加されたひとり暮らし高齢者の方は、27名。蕨沢地区の約半数です。「大阪の息子のところへ行ってもやっぱり自分の家がええ、すぐ帰りとなる。」「今は、元氣やけど身体の調子が悪うなったら、交通の便が悪いさかい不安や。」など日頃の思いをそれぞれ話されていました。

福祉委員の宗平圭司さんは、あいさつで「もっと多くの方に参加してもらえるよう呼びかけてほしい。」と今後の意気込みを述べられていました。（山崎支部 阿曾秀樹）



メニューは、アウトドアでの企画らしく、焼きそば、おにぎり、フランクフルトなどの鉄板焼き、役員さんががんばります

いのちのみや

子育ての輪を地域の中で ふれあいサロン交流会・子育てサロン



「ばいばい。ばいばい。」



交流会も今年で4回を数えます。一宮町内の親子8組が千町に...

7月23日、上千町公民館を会場に、「千町ふれあいサロン交流会」が開催されました。会場では、大はしゃぎする子どもや、おじいさんと子育てについて会話するお母さん、子どもを抱っこするおばあさんの姿などが見られました。

「また、千町に来ます。」「おばあちゃん、さようなら。」と、再開を約束し、お母さんたちは、千町を後にしました。また、7月25日、三方町交

流センターで開催の「子育てサロン」に、兵庫県立こどもの館より、「動く・こどもの館号」がやってきました。親子ふれあい遊びやぬいぐるみの人形劇観賞、パネルシアターなど、親子いっしょに楽しい時間を過ごしました。このように、「親子がいっしょに集える場」や「親子の出会いの場」を、地域の中に広げていくことは、子育てを支援する中で大切なことと言えます。（一宮支部 波多野好則）



体験指導員といっしょに、ほくもわたしも“ジャンプ！”当日は、サロンに50名が参加！